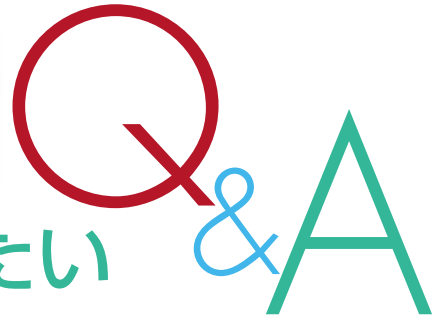


町づくりの考えは？

ここが聞きたい



既往新興住宅地の環境整備を

関係者の理解を求めて努力する



羽根 潤保 議員

局の駐車場は混雑時の路上駐車など、交通安全の問題が大変懸念される。幸田小学校駐車場の開放その他の改善策は。

農業用水路に
集水施設を

町長 (1) 南川後一帯の問題は大変懸念をしている。非常に難しい問題であるが区長をはじめ、地元関係者の協力・理解を求めよう努力したい。

総務部次長 (2) 区長会で協議をした経過もあるが結論には至っていない。属地主義の原則を曖昧にすると、将来の行政運営に問題を残すことにならるので、関係住民の方々には、粘り強く理解を求めていきたい。

問 平成18年の消防統計によれば、建物火災が9件発生し、合計損害額は約9500万円と、近年にない大きな災害が発生している。

(1) 消火栓・防火用水の設置の現状は。

(2) ため池や水量の多い河川・排水路は、防火用水・消火栓に比べて、大変優れた消防水利である。その位置づけはマニュアル類で明確になっているか。

(3) 農業用水のパイプラインや排水路に集水施設を設置する消防水利強化策への対応は。



整備がたれる道路

自然水利の 管理に十分 配慮する

消防長 (1) 平成18年度は、防火水槽1基、消火栓4基を設置し、その総数は、防火水槽196基、消火栓383基となっており、町内各地域のバランスを考慮し、計画・設置を進

めていく。

(2) 消防水利規定には、定めていないが消防水利台帳に、60カ所を確保して年2回の治水調査を実施し、災害時に備えている。

(3) 農業用水利施設の緊急時の活用は、渇水期の冬場対応や集水ピットの設置などに問題もあるので土地改良区その他の関係部署と協議をしたい。

問 南川後地区をはじめとする幸田小学校の周辺地域は、集落の幹線道路や側溝などの住環境整備に極端な立ち後れがあり、計画的な改善策が必要である。

(1) 消防など緊急車両の進入できない箇所も多数あるが、その現状認識と改善策は。

(2) 大草と岩堀・鷺田の行政境界の問題解決、属地主義徹底の考えは。

(3) 町有地にある大草郵便

町長 (3) 交通安全上の問題に留意して、移転を含め改善に努力をしていく。



成瀬克己 議員

自治基本条例制定と職員教育を 条例制定は今後の課題とする



朝夕ラッシュの道路

問 地方分権の進展により、決められたルールの上での行政運営から、自らの意志でおこなう真の地方自治の推進が重要になってきた。以下を問う。

(1) 自治体の最高法規である自治基本条例の制定が不可欠で、その検討の時期にきていると思う。制定の考えと、概略スケジュールは。

(2) 自治体の自立という点で、町の将来を見据えた

政策立案ができる職員の育成が必要である。先進的自治体や、優秀な民間企業への一定期間の出向も含め、その考えは。

町長 (1) 平成12年4月に地方分権一括法が施行され、市町村に独自性・自律性を持つ地方政府の地位が与えられることになった。

この基本的なルールとなるのが自治基本条例であるが、近隣市町には事例はなく、行政・議会および関係住民の皆さんを巻き込んで取り組むことでもあり、今後の課題としたい。

助役 (2) 職員研修は、人材育成計画に基づき実施しているが、政策課題研修などにも、積極的に参加し資質向上に努めたい。

問 (1) 須美福岡線のバイパス機能を持つ都市計画道路 野場福岡線の県予算は近年ゼロである。県への陳情も大事であるが、岡崎市との連携が更に重要と思う。今後どうするのか。

(2) 大井池改修で県道生平幸田線が長期間通行止めとなるが、迂回路は長嶺のフタバ産業前の道路を予定。この道路は現在で

道路行政
これを
どうするのか

も朝夕はラッシュ状況にあり、渋滞に拍車がかかる。これをどう認識しているか。

大井池周辺林道、または林道久保田釜谷線を暫定整備する考えはないか。

重要路線の整備に引き続き努力

町長 (1) 野場福岡線は、国道23号の開通により、須美インターから岡崎へアクセスする重要な路線でもある。

町内の用地買収は、約80%完了しているが、広田川以北の岡崎地内は実設計が未着手の状況であり、引き続き岡崎市はじめ関係者との調整・協議に努力していきたい。

(2) 生平幸田線は、すでに県が調査測量に着手する段階にある。

大井池の改修工事に合わせた周辺道路などの暫定整備は、非常に困難であると思われる。

妊産婦無料健診の回数拡大を

10月から無料健診を7回に拡大



水野千代子 議員

問 本町では、母子健康手帳に2回分の無料健診票がついており、それ以外の健診は、保険適用がないため全額自己負担となる。

厚生労働省の通達では、妊産婦健康診査は妊娠初期から分娩まで14回程度の受診が望ましい回数と示され、「無料健診5回を基準」としている。

若い夫婦の子育て支援として、妊産婦無料健診の回数拡大と、県外に里帰りをする女性のために、県外受診も償還払いでの助成を提案する。

福祉部長 平成17年度の無料健診受診率は、1回目97%、2回目92%で、費用の全額約510万円が町負担となっている。

厚生省の通達もあり、19年度10月から、無料健診を

7回に拡大実施する。県外での受診は、医療機関との契約がされていないため、健診の内容などの

チェックも含め、補助金で返すのか、今後検討していく。



パパもいっしょうけんめい

**町立図書館で
破損本の
展示を**

**展示は
考えていない**

問 図書館の資料は住民の大切な財産である。一部のマナーの悪さから、本の貸し出し時、傍線やマークが書き込まれたり、ページを切り取られるなど、破損本があると聞く。

利用者のマナー向上を呼びかけるために「本が泣いています」と破損本などの展示を提案し、以下を問う。

- (1) 貸し出しにともなう傷みで破棄される本は、年間何冊か。
- (2) 故意と見られる破損本の状態と冊数は。
- (3) 破損・紛失を申し出た対処方法は。
- (4) 利用者マナー向上のために啓発の展示を。

教育部長 (1) 平成18年度実績で、一般書26冊、児童書64冊、ビデオなどの視聴覚資料も合わせ約200点である。

(2) 雑誌類の中にある懸賞やクーポンなどの応募券の切り取りが年間約15冊で、故意による破損は1件である。

(3) 届出書に記入し、弁償は現物か現金弁償であり届けは月平均約7件、弁償は年間約17件である。

(4) チラシ、ホームページで積極的にマナー向上を呼びかけていく。展示は考えていない。



丸山千代子 議員

安心して産み育てられる支援を 前向きに取り組んでいく

問 子育ては妊娠から始まり、安心して産み育てられる環境づくりが求められている。

子育て支援充実のため、以下を問う。

- (1) 不妊治療費補助（現行3万円）の引き上げ。
- (2) 厚生労働省は「妊婦健診の公費負担は14回程度おこなわれることが望ましい」とし、5回は原則と通達した。妊婦無料健診の回数拡大を。
- (3) 相談窓口、イスやベビーカーなど育児コーナーの設置を。
- (4) 子育て情報のホームページの充実を。

福祉部長

(1) 制度をスタートしたところであり、今後状況をみて判断していく。

- (2) 国からの通達もあり、10月から妊婦無料健診を7回に拡大する。
- (3) ベビーカーを玄関に配置して、庁舎内どこにも移動しても、母親の目が届くようにする。
- (4) 子育て支援のホームページを充実するため、前向きに取り組んでいく。

自立支援盛り込む障害者計画に

問 幸田町障害者計画は、平成19年度から23年度までの5年を目標に、今年3月末まで策定が義務づけられている。素案は、特定疾患の難病患者支援などが不十分。計画に盛り込み自立支援の充実を求める。

- (1) 特定疾患受給者証の交付件数は。
- (2) 特定疾患見舞金支給事業の実施を。
- (3) バリアフリー対策の住宅改修費の引き上げを。
- (4) 障害者自立支援法は応益負担となる。1割負担軽減と食費負担補助を。
- (5) 総合福祉センターの拠点計画を。

難病患者支援を計画に入れる

福祉部長 (1) 受給者証の交付は117件である。



手狭な福祉授産所

- (2) 難病患者支援を計画に入れ、見舞金は取り組んでいく。
- (3) 平成18年度の申請は3件であり、引き続き20万円対応する。
- (4) 平成19年4月から自立支援法が多少緩和される。障害者年金の2級、月額6万6667円の人、工賃収入2万4000円未満の人は利用料はなし。工賃4万円の場合は利用料1680円であり、負担軽減は考えていない。
- (5) 障害者福祉センターとして位置づけ、今後の研究課題としていく。

名豊道路岡崎バイパスに期待

東西を結ぶ重要な幹線道路となる



長谷奥弘 議員

問 名豊道路岡崎バイパスは計画以来30数年、やっと3月26日開通となる。沿線住民は発展と活力ある地域となることを待ち望んでいる。

- (1) 沿線地域西南部の整備や開発の計画は。
- (2) 地域発展と活性化にバイパス利用の利便性や、自然の豊さなどを強調して各方面に幅広いPRを。
- (3) 名豊道路蒲郡バイパスの進行状況は。
- (4) 上六栗区内の道路対策は。

町長 (1) 自動車関連の小企業6社から開発、進出の申し出がある。今後、水道の幹線を引き、西南地域7.5haに工業用地の開発をしていく。(2) 東西を結ぶ極めて重要な幹線道路であり、イベ



23号の開通を喜ぶ町民

建設部長 (3) 芦谷ICから蒲郡境まで93%、蒲郡境

から蒲郡西ICまで92%、蒲郡西ICから蒲郡ICまで27%、それぞれの区間で用地取得。

道の駅が地域の活性化の核に

本線工事に順次着手していく。
(4) 交差点改良工事を完了後、信号設置をする。

持続可能な施設としていく

- 問** 名豊道路の幸田桐山IC、幸田須美IC間、下り線に道の駅が設けられる。
- (1) 道の駅「地域振興施設」の成功には、施設の公設でよしとせず、指導や対策面にも理解と援助を。
 - (2) 道の駅の成功は、地域の活性化につながる。行政と受け入れ側、両方の意欲の高揚を望む。
 - (3) 道の駅地域振興施設に女性パワーの引き出しを。

町長 (1) 5月か6月に、国のヒアリングに臨み、国庫補助の見直しをつけ、施設整備をする。関係者と受け入れ側の選考を進め、平成19年度中に実施設計、20年に建設をしていく。
(2) あらゆる機会を通し地域の特産などPRできるように協議を重ね、多くの関係者が産直を含めて参加できるように調整、努力をする。
(3) 生活改善グループなど女性の方にも参画していただき、持続可能な施設としていく。



伊藤宗次 議員

2人目半額全階層で3人目無料に 保育料の軽減に努める

問 子育て支援、少子化対策の重要な柱の一つ。

保育料減免・拡充で、2人目半額はD5階層から、保育料の安い上の子を半額にし、しかも、兄弟の一人が幼稚園、一人が町立保育園入所の場合、2人目でも半額としない「兄弟入所」条件を設けている。

少子化対策に反するもので、2人目半額は全階層で2人目を対象児とし「兄弟入所」条件の撤廃を。

3人目以降は無料とし、卒園まで無料にすることが子育て支援につながる。実施すべきだ。

福祉部長 厚労省の通達のとおり生まれ順で第1子、第2子という考え方に変えていく。

1人目が他の保育園、幼稚園に通っていても、2人目が町立保育園であれば、その子の保育料を半額にする。

3人目以降は、民間保育園、幼稚園も含め同時入所の場合は、保育料を無料にし軽減に努める。

“介護難民” つくりぬ 支援を

問 昨年4月、介護保険が改悪され「軽度者」とされる要支援1・2。要介護1

の人から「介護度が低い」として、介護保険で利用していた介護ベッド、車イス、ヘルパーやデイサービスが対象外とされ、用具などが取り上げられたが、その実態は。

「軽度者」とされても介護用具を必要とする人は、

レンタルや購入している。助成制度づくり支援を。要支援とされ、介護タクシー利用できず、「介護難民」をつくりだしている。町独自の支援や助成を。

個別に相談 を受けてい く

福祉部長 要介護1から要支援1、2への移動は、合計で22人である。6カ月の経過的措置が過ぎた昨年の10月からは、37件が利用できなくなっているが、医師の診断などによって適用が緩和される。

介護用具など自費でのレンタル料は、介護保険制度とほぼ同額の1割負担であるため、購入を含め助成は考えていない。

介護タクシーは、タクシー料金が保険対象ではなく、乗降介助が対象である。1人で乗降できない状況であれば、認定の見直しを考え、個別に相談を受けていく。



無料貸し出しの福祉車両

委員会レポート

総務

事故多発交差点に 信号機設置を



アップダウンの多い県道美合幸田線

・2月21日協議会開催
交通・防犯・防災等、固定資産評価審査決定処分取消訴訟、平成17年度岡崎市額田郡模範造林組合一般会計決算および平成18年消防統計についてが、主な議題でした。

Q 長年、地元要望している交通事故多発の交差点への信号機設置は。
A 警察により総合的な設置箇所の調整がおこなわれている。現地在を再確認し、緊急性や優先順位を考慮して、強く要請する。本町は、町の中心部が暗い、歩車道の区分など安全対策に縦割り行政の弊害があるのでは。

A 歩車道の分離は、非常に難しいが、街路灯の設置など、縦割り行政の弊害のないよう努める。
Q 国民保護計画の策定と地域防災計画の見直しをリンクすべきではない。
A 国民保護協議会と防災会議をメンバー的なことから、同日開催するもので、内容をリンクさせるものではない。

産業建設

西三河農業共済組合 を再編整備

・2月15日協議会開催
Q なぜ農業共済組合を合併し広域化するのか。
A 農業共済事業の安定化を図るため、岡崎額田、衣浦東部、西尾幡豆、豊田三好の各地区4組合を合併する。
さらに財務基盤の強化を図るため、組織体制の合理化、運営の効率化をめざし、新たに建物共済事業収入を取り入れる。
Q なぜ民営化するのか。
A 三位一体改革で国からの補助金が民営でないとは交付されず、農業共済を



栽培が盛んな幸田のハウスなす

取り巻く状況の変化への対応のため。
Q 農家負担金が各組合で保険金に差があり、差額がでるが差額は誰が払うのか。
A 岡崎額田地区の保険金は特に4組合の中でも安く、この差額は当分の間それぞれの市町で負担をしていく。
Q 農業共済組合の事務所はどこに置くのか。
A 事務所は、安城市内で詰所を吉良町と豊田市内に置く予定。

文教福祉

火災警報器の
取付支援

・2月14日協議会開催

Q 住宅用火災警報器取付支援事業とは。

A 75歳以上の高齢者のみ世帯、重度の障害者・要介護3以上の住宅用火災警報器の設置に対して、2台まで7000円を限度に費用の2分の1の助成をおこなう。取り付けは、町の指定業者がおこなう。

Q 対象者の人数、指定事業者は何社か。

A 対象者は、約1200人でその内1割の方の申請を見込んでいる。指定事業者は2社程度を考えている。

Q 特に高齢者、寝たきり、障害者が被害に遭うことが多いので、周知徹底が必要である。周知方法はどのようにするか。

A 広報や在宅介護支援センター、ケアマネージャー、民生委員、障害

者団体などを通じて、周知徹底をはかっていく。



取り付けられた家庭用火災警報器

いっぱん質問その後 追跡

あの答弁はどうなったの!

議員研修会

議会では、研修を通じて議員としての識見をさらに高め、資質の向上と相互の交流を深めるため、いくつかの広域的な連絡協議会を組織し、研修会を実施して

います。
1月29日、額田郡町村会・町村議会議長会合同研修会が本庁舎4階ホールで開催され、コリア・リポーター編集長・辺真一氏の「最

近の朝鮮半島事情」と題する講演を聞きました。これらの研修は、今後の議員活動に有益なものとなりました。



拡幅された光明寺川堤防道路

Answer 左岸の農道を拡幅し、植樹で景観づくり。

question 光明寺川を癒しの川に。

平成17年9月定例会
羽根渕保博議員

その後
afterward

葵桜の植樹など、町民会館周辺の景観をよくするため、農道の拡幅が計画され、地権者の協力により、部分的な工事が完了した。また、親水ゾーンの浄化対策としては、木製の堰が設置された。